

令和3年度6月補正事業説明資料

(農政水産部)

事業名	肉用牛肥育経営担い手指導體制構築事業	新規・改善・既定	課名	畜産振興課
		国庫・県単		

1 事業の目的・背景

コロナ禍で疲弊した肉用牛肥育経営の安定化と今後の輸出拡大等、先を見据えた経営展開を図るため、関係機関が保有する肉用牛肥育経営の各種データと連動した技術・経営分析システムを新たに整備し、より濃密なコンサル指導體制を構築する。

2 事業の概要

(1) 予算額 11,000千円

(2) 財源 国庫：11,000千円

(3) 事業期間 令和3年度

(4) 事業主体 公益社団法人 宮崎県畜産協会

(5) 事業内容

- 肉用牛肥育経営担い手指導體制構築事業（県定額） 11,000千円
肉用牛肥育経営に係る各種データと連動した技術・経営分析システムの整備を支援

3 事業効果

あらゆる危機事象に負けない競争力のある肉用牛肥育経営を確立する。

肉用牛肥育経営担い手指導体制構築事業

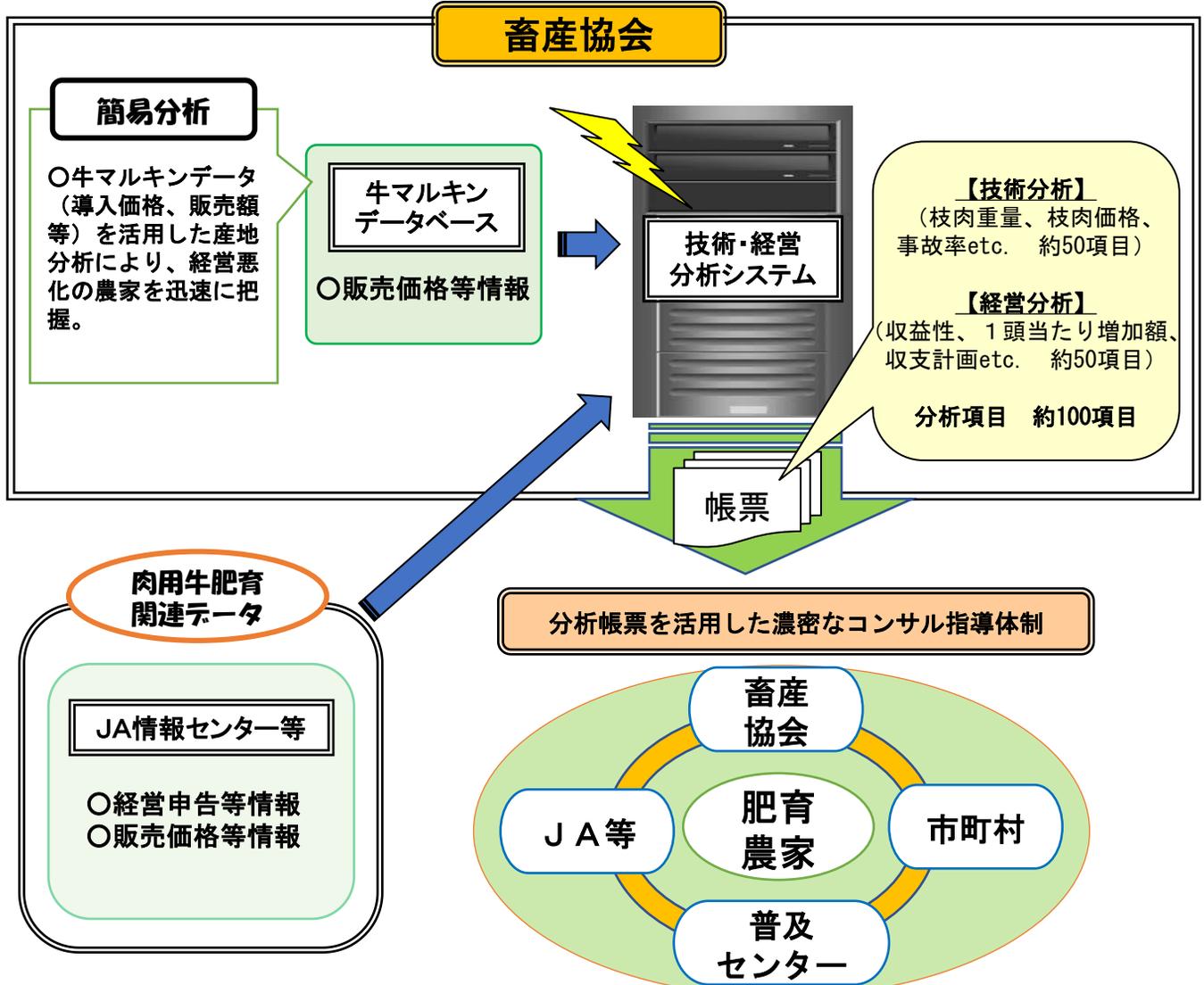
現状と課題

- コロナ禍の影響で肉用牛肥育経営の悪化に伴い、国はこれまでに、牛マルキンの発動に加え、生産者負担金の納付猶予、さらに経営体質強化の取組に対する支援対策等を措置。
- 県はR2. 6月補正で国の支援を活用する体制づくりとして、簡易な分析システム整備を支援。
- コロナ禍で枝肉相場の先行きが不透明なことに加え、配合飼料価格の高騰が続いている。
- 今後の肥育経営では、ポストコロナにおける輸出拡大等のチャンスに向け、県産牛肉を生産拡大する先を見据えた経営展開を図るため、より濃密なコンサル指導体制の構築が急務。

取組内容

肉用牛肥育経営コンサルシステムの構築

- ◎各種技術、経営関連データと連動した技術・経営分析システムを新たに整備。
- ◎詳細な技術・経営分析による濃密な畜産コンサル指導を実施。



効果

あらゆる危機事象に負けない競争力のある肉用牛肥育経営を確立